



おくたま

第211号

令和6年11月5日発行

町議会だより



原島 匠・書

編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>

第3回定例町議会

第3回定例会は、9月3日から9月13日までの、会期11日間にわたり開催されました。

令和5年度の各会計決算は、本会議初日に提案され、延べ4日間にわたり行われた決算審査について、代表監査委員松永健太郎氏による審査報告の後、議長と議会選出監査委員を除く8名で構成する決算特別委員会に審査が付託されました。

9月10日、11日の2日間にわたり開会された決算特別委員会では、内容説明、質疑等が行われ、13日の本会議で採決の結果、次の全8会計決算とも全議員の賛成により認定されました。

○認定第1号
一般会計

○認定第2号
都民の森管理運営事業特別会計

○認定第3号

山のふるさと村管理運営事業特別会計

○認定第4号

国民健康保険特別会計

○認定第5号

後期高齢者医療特別会計

○認定第6号

介護保険特別会計

○認定第7号

下水道事業特別会計

○認定第8号

国民健康保険病院事業会計

決算審査報告（監査委員）

令和5年度の奥多摩町における全8会計の決算書類は、関係法令に準じて作成されており、関係帳簿及び会計伝票並びに証明書類とも照合の結果、決算の計数に誤りはなく、預金残高とも符合し、基金の運用状況及び予算の執行も適正かつ正確であり、歳入、歳出とも妥当であったことを認める。

《令和5年度決算における奥多

摩町健全化判断比率算定書類及び資金不足比率算定書類に関する審査の結果》

算定基礎事項を記載した書類とチェック表とを照合の結果、計数等は、全て正確で、適正に書類が作成されていた。その結果、健全化判断比率及び資金不足比率についてはともに良好であると認める。

決算特別委員会質疑

決算特別委員会では、次のことについて、質疑を行いました。

○一般会計

・森林館の事業とリニューアルについて

・財産（町有地）売却収入1件の内容

・空き家利活用等区市町村支援事業補助金及び島しょ山村地域への定住促進サポート事業費補助金の内容

・広報広告及び町ホームページ
・バナー広告の収入が昨年度よ

- ・り増額となった要因と工夫点
- ・職員健康診断結果が異常有りととなった職員への対応及び負担状況について
- ・地域振興対策事業費の不用額が多額となった理由
- ・職員の接遇研修について
- ・第6期奥多摩町長期総合計画業務委託の内容
- ・庁舎建設整備事業費、新聞広告掲載料の内容
- ・成年後見制度利用支援事業の内容
- ・成年後見推進機関の利用者数
- ・不妊治療の助成事業と不育治療助成事業の一本化について
- ・保育従事職員宿舍借り上げ支援事業補助金の内容
- ・町内各保育園における特別な配慮が必要な児童に要する経費の対象者数
- ・橋梁自殺対策協議会、万世橋の嵩上げ進捗状況
- ・母親学級事業費、母親学級参加実績0人の内容及び今後のアプローチ方法について
- ・高齢者自立支援日常生活用具の内容及び給付事業実績0件

- ・と周知について
- ・農作物有害鳥獣対策事業費、イノシシ捕獲数と緩衝帯整備地区の場所
- ・観光用公衆トイレ総合清掃委託の内容及び清掃範囲
- ・空家等実態調査業務委託の内容と効果、周知と今後について
- ・地域課題を通じた地域との縁づくりプログラム内容及び採択事業の内容及び今後について
- ・定住促進サポート事業における起業及び就労内容について
- ・獣害システム導入業務委託及び同システムの保守管理業務委託の更なる展開について
- ・河川監視等実証実験業務委託の内容
- ・寄付物件大丹波南平解体工事後の今後の計画について
- ・子供の転入・転出推移において転出人数が上回っている理由及び定住増への考えについて
- ・柳小路観光トイレ使用料(賃借)の内容
- ・町ふれあい広場事業費の内容及び令和6年度増額した理由

- ・奥多摩小屋跡地周辺清掃ヘリ運搬業務委託について
- ・文化財収蔵庫実施設計業務委託の内容
- ・古里小プール監視業務委託の効果と事故の有無及び各学校授業利用回数と全体の利用状況
- ・IP無線機通信料及び衛星無線機通信料の内容
- ・消防施設維持管理費不用額、施設整備の内容及び消防団詰所の空調機設置状況
- ・操法審査会場改良工事の内容
- ・奥多摩町立小学校のあり方検討委員会内容及び委員構成
- ・氷川小学校児童数の推移について
- ・奥多摩中学校パソコン教室機器使用料、リース契約の内容
- ・学校における眼科・耳鼻咽喉科検診委託の内容
- ・外国語青年招致事業について
- ・図書館の電算システム保守について
- ・防災・減債基金費の内容
- ・スクールソーシャルワーカー活用事業の内容及び発達検査

- ・の内容
- ・放課後英語教室の補助金活用について
- ・日原ふるさと美術館入館者数及び今後の運営について
- ・登計原山村広場運動公園内のテニスコート使用者の内容
- 国民健康保険特別会計
- ・徴収専門員委託の内容
- ・一般会計からの繰入金について
- 下水道事業特別会計
- ・令和6年度公営企業会計への移行について

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも議員の賛成多数により、原案のとおり承認、可決されました。

【 条 例 】

- 議案第49号
- 町税賦課徴収条例の一部を改正する条例

○議案第50号
国民健康保険条例の一部を改正する条例

【 報 告 】

○報告第2号
令和5年度決算における奥多摩町健全化判断比率

○報告第3号
令和5年度決算における奥多摩町資金不足比率

○報告第4号
教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価(令和5年度分)

【 補正予算 】

○議案第52号
一般会計(第2号)

○議案第53号
都民の森管理運営事業特別会計(第1号)

○議案第54号
山のふるさと村管理運営事業特別会計(第1号)

○議案第55号

国民健康保険特別会計(第1号)

○議案第56号

後期高齢者医療特別会計(第1号)

○議案第57号

介護保険特別会計(第1号)

○議案第58号

下水道事業会計(第1号)

○議案第59号

国民健康保険病院事業会計(第1号)

【 契 約 】

○議案第60号
パッカー車(塵芥収集車)購入契約

○議案第61号
ポンプ自動車購入契約

○議案第62号
もえぎの湯外壁等改修工事請負契約

【 人 事 】

○議案第51号
教育委員会委員の任命の同意

大串 千代 氏(再任)
(大丹波在住)

陳 情 の 取 扱 い

審議されたのは、陳情2件で、次のように決定しました

【 不採択としたもの 】

○6陳情第1号

マイナ保険証と現行の健康保険証の両立を図るよう国への意見書提出を求める陳情書

【 趣旨採択としたもの 】

○6陳情第2号

民間建築物に係る石綿(アスベスト)等含有調査への助成制度を求める陳情書



議会だよりのご感想をお寄せください。
また、議会に対するご意見ご要望等がありましたら、お気軽に議会事務局までお知らせください。

議席番号										議員名 議案番号等
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
原島 幸次	高橋 邦男	宮野 亨	小峰 陽一	澤本 幹男	大澤由香里	相田恵美子	森田 紀子	伊藤 英人	榎戸 雄一	議案第50号
○	○	○	※	欠席	×	×	×	○	○	議案第55号
○	○	○	※	欠席	×	×	×	○	○	6陳情第1号
○	○	○	※	欠席	×	×	×	×	○	

【賛成…○ 反対…× ※議長は採決に加わらないが賛否同数の場合は議長が裁決します。】

賛否の分かれた議案・陳情

一 般 質 問

(1) 6番 澤本 幹男議員(5ページ)

- ①氷川地区に歯科医院の招致について
- ②奥多摩町で今後予想される財政面の課題について

(2) 4番 相田恵美子議員(5ページ)

- ①町独自の障害福祉事業について
- ②ナラ枯れの状況について

(3) 9番 高橋 邦男議員(6ページ)

- ①猿被害対策について
- ②放置されている町所有建物の利活用問題について

(4) 10番 原島 幸次議員(6ページ)

- ①町内における獣害対策について

(5) 1番 榎戸 雄一議員(7ページ)

- ①町が管理する道路状況について

(6) 8番 宮野 亨 議員(7ページ)

- ①認知症の人の希望ある暮らしについて
- ②物価高騰・経済対策・新型コロナウイルス対策について

(7) 3番 森田 紀子議員(8ページ)

- ①福祉事業の送迎サービスについて
- ②太陽光発電事業について

(8) 2番 伊藤 英人議員(8ページ)

- ①こども家庭センターの設置について
- ②町民の生活環境をまもる 環境基本条例について(空き家対策と獣害対策)
- ③町民の生活環境をまもる 環境基本条例について(観光公害対策)

(9) 5番 大澤由香里議員(9ページ)

- ①学校体育館の空調設置について
- ②町有地の管理について
- ③町制施行70周年記念行事について

令和6年第3回定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。

ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、11月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ～町議会～会議記録(結果))

町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。

また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。



QRコード



自民党清新会
さわもと 幹男 議員

問

- ① 氷川地区に歯科医院の招致について
② 町で今後予想される財政面の課題について

答

- ① 情報収集し、実現の可能性を探る
② 財政環境は厳しいと認識

質問1 奥多摩町の歯科医院は古里地区と氷川地区にあったが、この春、氷川地区にある高橋歯科医院が休診となった。氷川地区に歯科医院がないと小河内地区・日原地区の高齢者は大変不便である。食べ物を口にいれて咀嚼する歯と歯周組織が大切で、健康を保ち元気で長生きすることと歯は大きく関わる。氷川地区に歯科医院の招致について伺う。

質問2 町の最大の課題は少子高齢化の問題である。それに伴う財政面の課題も大きくなっている。人口減少と高齢化に伴う税收の減少。高齢化などに伴う社会保障費の増大。施設の老朽化への対応による投資的経費の増大等がある。町の税收は今年予算6億5千万円と年々減少している。しかし歳出の扶助費は大幅な増減はない。様々な財政面の課題を抱えているがどの様な対策をとるのか。

町長1 高橋スマイル歯科の分院として、氷川地区に、たかはし歯科医院は火曜日と金曜日に診療していたが歯科医師の派遣ができず今年の3月末で閉院し再開は難しい状況であり古里地区の古里歯科診療所のみとなった。歯科医院に通い口腔ケアを行うことは高齢者の健康維持の観点からも重要である。氷川地区への歯科医院招致は今後、西多摩歯科医師会との協議の場で情報収集し、実現の可能性を探る。

町長2 町の財政の課題は、歳入面では国や東京都の財源に依存する割合が依然として高い状況である。人口減少や高齢化に伴い町税が漸減し今後減少傾向で、歳出面では、新庁舎建設等の大型事業、更新時期を迎えている公共施設の改修や道路・橋梁等のインフラ整備等の多くの支出が見込まれる。町を取り巻く財政環境は厳しいと認識している。



ガジュマルの会
あいだえ みこ 議員

問 ナラ枯れの状況について

答 東京都・環境省とも連携し対策を検討

質問 カシノナガキウムシが媒体とするナラ菌によりミズナラ等が枯損することを「ナラ枯れ」という。ナラ枯れは2000年頃から西日本と北日本で広がり始め、東京都では2019年に確認され多摩地区の雑木林を中心に拡大、西多摩の山間部の樹木にも感染の報告がある。奥多摩町内でも多く目視されるようになった。まるで季節外れの紅葉のような山の景観に町民の方や登山者からも懸念する声が聞かれる。

奥多摩町第2次環境基本計画では「ナラ枯れは本町では確認されていません・」との認識であり、現状との整合性に疑問を感じる。ナラ枯れの被害に対応している近隣の自治体の取り組みを鑑みると、町もナラ枯れの調査・対策に早急に取り組む必要があると思うが、町の所見を伺う。

町長 本年に入り、東京都環境局多摩環境事務所所属の奥多摩地区担当の東京都レンジャー等の町内関係機関を通じて、町内のナラ枯れを把握した。状況は、主に町内の東側、青梅市と隣接する高水三山や御岳山周辺の区域が中心となっている。日本森林学会誌によればナラ枯れは標高300メートル以下で多く発生するが、地球温暖化の影響により標高1000メートルを超える被害も確認されており、当町の山林の状況を鑑みると、最悪の場合、ほぼ全域に拡大する可能性も想定される。しかしながら、広大な山林を有する当町において、町独自の対策は難しく、東京都と連携することはもちろん、町全域が秩父多摩甲斐国立公園でもあることから、環境省とも連携し、予防的措置も含めて、町全体の対策を検討していく。



山なみ会
たかはし 邦男議員
高橋

問 猿被害対策について

答

檜原村の大規模捕獲と同様の対策が図れないか早急に検討を進める

質問 町では、多くの高齢者の方が農作業に励み、農作物づくりを楽しんでいる。しかし、収穫目前に野生動物、特に猿に農作物を取られ、耕作意欲を失っている方が多い。電気柵を設置している方もいるが、多くは爆竹やロケット花火で追い払い凌いでいる。でも、根本的な対策にはなっていない。特に、今年は猿の行動・生態に大きな変化が見られる。それは、今まで以上に畑や敷地内に我が物顔で入り込んでいることや人間を恐れない大胆さを身に付けてきていることである。又、子猿の数が多く、ことも問題である。今ここで根本的な対策を打たなければ、猿被害を止めることはできない。そこで、次の質問をする。①町は今年の農作物の猿被害の状況をどの程度把握しているか。②町として猿被害に対する根本的な対策をどう考えているか。

町長 ①昨年度の猿による農作物へ

の被害は、58件、面積は15.1アール、被害金額は約200万円となっている。なお、8月末時点、観光産業課に寄せられた獣害による農作物への被害件数は約30件で、昨年度の被害件数に迫る件数となっている。町では、引き続き簡易電気柵や侵入防護ネットの設置、爆竹やロケット花火の無償配布のほか、町猟友会と連携し、追払いや罠の設置、状況に応じて捕獲を行っている。②具体的な対策としては、檜原村が都環境局と協議の上予定している大規模捕獲を参考に、町の実情に応じて同様の対策が図れないか、町猟友会とも連携のうえ早急に検討を進めていく。その一方、都に対しても「シカ管理計画」と同様に、捕獲を含んだ個体数の管理、被害防除対策などを盛り込んだ「サル管理計画」について早急に策定するよう強く要望していく。



自民党清新会
はらしま ゆきつぐ
原島 幸次議員

問 町内における獣害対策について

答

近隣市町村とも連携し、国・都と一体となつて獣害対策を強化・推進していく

質問 今年になって奥多摩町では、クマの目撃情報が多く、住民への被害を心配している。クマ以上に町民にとつて困っているのが「サル害」である。農作物の耕作者は収穫寸前の野菜等を全滅させられたり、防護柵を作つて侵入を防いでいるが、うまくいっていないのが現状で、畑を耕作するのをやめたいという住民もいる。そこで当町の獣害対策について問う。

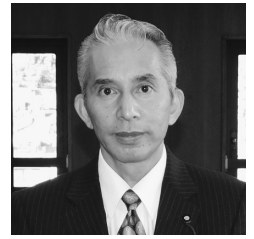
①獣害に対する目撃報告アプリが当町で開発された。アプリを導入して良かった点について。

②動物愛護の観点から、捕獲した小動物の処理を行う設備を導入できないか。

③クマはいつ住民に対して危害を及ぼすか予測できないため、クマと出会った場合取るべき「行動マニュアル」を作成し住民に周知をはかるべきと考えるが。

町長 ①アプリを導入したことにより報告内容をリアルタイムで町猟友会と共有でき、町内の出没状況を把握でき所管課の獣害把握の事務軽減を図ることができするなど、アプリ導入のメリットを実感している。②ハクビシンやアライグマ等の小動物は動物愛護の観点から二酸化炭素により窒息させる装置もあることから、費用面の課題はあるものの近隣市町村の取組を参考にしていく。③町ホームページに「ツキノワグマへの対策について」掲載し、その中で「出会ってしまった場合には」の項目を設け周知を図っている。所管である観光産業課に対し「行動マニュアル」を作成のうえ全戸配布するよう指示している。

町として、獣害対策を粘り強く継続し、近隣市町村とも連携し、国・都とも一体となつて獣害対策を強化・推進していく。



自民党清新会
えのきど 榎戸 雄一 議員

問 町が管理する道路状況について

答 緊急性の高いものから優先的に取り組む

質問 町が管理する道路は町道や林道、農道がある。奥多摩町は東京都の約10%の面積を有し都内で最も大きい町である。この広大な面積の道路を限られた予算で維持管理する事には苦慮しているものと思われる。自然災害や老朽化による補修や各自治会の要望も数多く、寄せられているものと思う。一方で道路環境美化活動として「アダプト・ア・ロード」事業が存在する。これは町民がボランティアで道路の環境美化を行う活動である。参加資格は2人以上で構成される団体であれば自治会、子供会などのほか任意の団体でも可能である。活動内容は自主的にゴミの清掃、除草や花植え活動などを行い、これに対して行政が支援を行う。以下、問う。

① 今後の道路整備計画について。

② アダプト・ア・ロード事業の実績や今後の活動推奨について。

町長 町が管理している認定道路は337路線、総延長250Kmに及ぶ。また林道24路線、農道9路線合わせて41Kmの道路も維持管理している。

① 今後の道路整備計画は第5期長期総合計画に基づき、東京都の財政支援を受け市町村土木補助事業を活用して道路の新設・改良を継続的に計画している。現在7路線の事業を実施しており、小規模事業は町単独で行い、安全対策を計画的に進めている。町内の道路の多くは50年以上経過しており補強や補修は緊急性の高いものから優先的に取り組み、道路維持管理に努めていく。

② 近隣の市町村でもアダプト制度で道路や公園などの美化活動に取り組んでいる。町では公共施設アダプト制度実施要綱を平成30年に制定し、現在3団体で23名のボランティアが登録されており、今後も広報活動に努める。



公明党
みやの 宮野 亨 議員

問

① 認知症の人の希望ある暮らしについて
② 物価高騰・経済対策・新型コロナウイルス対策について

答 ① 認知症の診断にかかる検査費用について無料や一部負担という形は現在の制度では難しい
② 自己負担額の軽減策を図る

質問1 認知症診断にかかる検査費用について、無料や一部負担という形にできないか。

質問2 ① 介護サービス事業所、特別養護老人ホーム、保育所等への物価高騰に対する負担軽減支援策は。② 障がい者支援施設、障がい福祉サービス事業所等に対する支援策は。③ 10月から定期接種となる新型コロナウイルスワクチン接種について年金生活者の高齢者等に対する負担軽減策は。

町長 ① 認知症検査における自己負担を助成しようとする場合、多くの財源が必要となること、また、健診を行う医療機関、医師会等との調整も必要となるなど、実施するためには多くの課題があることも事実であり、現時点では実施することは困難である。認知症に対する対応は、今後ますます増加する中、認知症検査が必要であることは誰もが実感するが、現在の制度では難しい。

町長 ② ②についてはこれまでも国の交付金を活用し様々な対策を実施。「新型コロナウイルス感染症」対応地方創生臨時交付金を活用し、24時間サービス提供を行っている7事業所を対象に、合計3千570万円を支給。また、「保育所等物価高騰緊急対策事業補助金」を活用し、補助を実施。高齢者福祉施設への財政的支援について、国や都からの財源がないと町単独での実施は難しい。今後財源が示された段階で検討する。③ 65歳以上(60〜64歳で身体障害者手帳1級相当の方)を対象に、接種費用約1万5千3百円から国の基金からの助成金8千3百円を除いた約7千円が自己負担となるが、1人あたり約3千5百円を町が負担することで軽減策を図る。

住民が医療機関で支払う金額は、2千5百円となる。



宇田 紀子議員
もりた 紀子議員

問 福祉事業の送迎サービスについて

答 次年度の事業運営に向けて検討する

質問 現在奥多摩町では送迎を含む新しい福祉サービスとして、チームオレンジによる「来るつくく」、お太助隊による「TOKYO長寿ふれあい食堂事業」が開始し、多くのみなさまに活用されている。両事業ともボランティアによる自家用車での送迎をしているが、事業の持続性を考えるに心許ない感が否めない。現在軌道に乗りつつある事業の持続性を図る事を目標とした場合、送迎用の車が必須となる。

①ワゴン車を用意し、必要な日時を申請し貸出しができるか。

②そのワゴン車はささえあいボランティア事業の使用も可能か。

③貸し出し用のワゴン車を運転することに慣れていない方に対し、講習会を開催できるか。

町長 所管である福祉保健課と社会福祉協議会で検討したところ、

①②③ワゴン車の新規購入費や維持

管理費のための予算をどう確保するのか、不特定多数の方が運転する場合の保険など管理上の問題があることなど、解決しなければならぬ課題が多い状況であり、実現に向けては、さらに検討が必要である。

「来るつくく」など、高齢者を対象とした新たな事業を継続していくためには、送迎の課題について解決しなければならぬことから、毎週水曜日に開所している「来るつくく」について、今後、試験的に庁用バスを運行し、利用者の送迎を行いながらどのような課題があるか検証する。「来るつくく」及び「TOKYO長寿ふれあい食堂事業」の新たな事業を継続して運営していくためには、運営スタッフの確保や処遇等も含めて解決すべき問題があると認識しており次年度の事業運営に向けて検討する。



いとう 英人議員
どんぐり 伊藤 英人議員

問 町民の生活環境をまもる 環境基本条例について（観光公害対策）

答 条例で規定する町の責務である環境保全等の施策を果たしていく

質問 町民の健康で安全かつ良好な生活環境の確保に寄与するため、「奥多摩町環境基本条例」があるが

①観光客による騒音、ゴミ放置という公害問題について、罰則罰金等の考えは。

②町は環境と観光を両立する先進地を目指すべき。町主体の環境保全の啓蒙は。

③JR東日本管内の車両での広報による外国語を含む啓発活動を、国や都とできないか。

④町はゴミ減量に取組んできたが、1人当たりのゴミ排出量は全国や都平均より多く、処理経費も同規模の町村より1人当たり年間1万2千円ほど高い。要因の一つは、観光ゴミといわれる。回収した観光ゴミの年間総量等は、削減等の対策は。

町長 ①特に多摩川の河原でのバーベキューやテント設営に対し、規制・管理も視野に検討していく。

②国内在住の外国籍の一部の人、飲酒した人の心無い行動という視点で、対策の検討をさらに重ねていく。

③青梅線車内や奥多摩駅構内での広報をJR東日本八王子支社とも協議し、国や都との実施、補助の活用を研究していく。

④町や観光協会が回収した観光ゴミは、120台分12t。町が配布したボランティア袋は636枚、20台分2t。計14t。観光ゴミの構成比は、町のゴミ総量1650tに対し0.8%、西秋川衛生組合負担金7千7百万円に対し62万円となる。（トラック1台当たり100kgで概算を算出）。

観光協会がゴミ袋を販売、回収し、大型連休とお盆休み期間は奥多摩駅前試験的に午後7時まで回収。今後の対策は、あらゆる可能性、選択肢を関係機関と協議していく。

環境保全等の施策を実施する町の責務を果たしていく。



日本共産党
おおさわ ゆかり 議員

問 学校体育館の空調設置について

答 相当の一般財源が必要となるため難しい

質問 年々、厳しくなる猛暑を背景に、文科省は、自治体に対し、避難所の役割も担う体育館の空調設置及び断熱性確保を進めるよう要請するとともに、エアコン設置に要する経費への補助に係る補助率を引き上げている。町においては、国の支援を活用し、子どもたちの教育環境改善、災害時の熱中症リスク低減を考え、学校体育館の空調設備設置に踏み出すべきと考えるが、見解を伺う。

教育長 小中学校での授業、部活動や行事での体育館使用について、体育の授業では小中学校3校とも、6月後半から夏休み前まで、体育館を使用する頻度は高くない。学校行事は児童・生徒数が少ないことから、暑さ指数が高い日は、校舎の多目的室やグリーンルームといった空調設備がある特別教室を使用するほか、ICT機器を活用して映像を各教室にオンライン配信するなど対応している。体育館を使用する場合には、

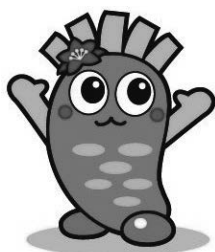
暑さ指数の把握、窓開け、大型送風機等の使用、こまめな水分補給など熱中症対策に努めている。中学校の夏休み期間中の部活動は、比較的、涼しい午前中に行うなどの対策を行っている。学校の体育館は、3校とも、断熱性能が確保されておらず、国の補助要件となっている断熱確保工事を施工した場合、1億円強の費用を要すると算出されている。学校環境施設環境改善交付金は、対象工事費の上限が7千万円までとなっており、国からの交付金は3千5百万円が上限となり、残りに事業債等を充てても、相当の一般財源が必要となるため、現状、空調設備設置は、難しい状況である。災害時、酷暑や厳冬期には避難所としての体育館活用を可能な限り避け、現にエアコンのある施設、教室等を活用していくことが現実的ではないかと考えている。

次回12月第4回定例会日程(予定)

議会運営委員会	11月21日(木)	
本会	11月29日(金)	
	12月3日(火)	
	6日(金)	一般質問
陳情受付期間	11月15日(金)	までに直接お持ちください。

会議の予定は変更になる場合があります。詳細は、下記までお問い合わせください。

問い合わせ 議会事務局
☎0428(83)2302(直通)



請願・陳情

- ① 請願には必ず1人以上の紹介議員が必要で、(陳情は不要です)
 - ② 請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し、署名(記名の場合は押印)してください。
 - ③ 提出は議会事務局へご持参ください。(郵送不可)
 - ④ 詳しいことは議会事務局にお問い合わせください。
- 12月定例会では、11月15日までに受理したものを審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。提出する際は、次のことにご注意ください。

議 会 日 誌

議 会 日 誌	
8月	1日 決算審査 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会 決算審査
2日	第8回山の日全国大会記念式典 昭島市市制施行70周年記念式典 奥多摩町健康づくり推進協議会 奥多摩町戦没者追悼式 決算審査
19日	(一社) 大多摩観光連盟第11回 通常総会・懇親会 例会出納検査
22日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会、都陳情行動・都議会要請行動 令和6年度秋川流域斎場組合定期監査等 議会運営委員会
9月	3日 町議会第3回定例会
4日	町議会第3回定例会
6日	町議会第3回定例会 小河内神社秋季例大祭 令和6年度海外派遣事業帰国報告会
8日	
10月	10日 決算特別委員会
11日	決算特別委員会
13日	町議会第3回定例会
23日	西多摩地区消防団連絡協議会 幹部研修会・懇親会 例会出納検査
26日	奥多摩町立古里小学校運動会
28日	奥多摩郷土芸能祭
29日	奥多摩町官公庁等連絡会議 西多摩地区議長会議 西多摩地区議長会議・懇親会
4日	西多摩郡町村議会議長会議員親睦会・懇親会
6日	奥多摩町立氷川小学校運動会
7日	議会だより編集委員会
8日	西秋川衛生組合議会定例会 秋川流域斎場組合議会定例会 長期総合計画審議会
10日	鳥取県三朝町議会行政視察
11日	西多摩郡町村職員親睦ボウリング大会
15日	小口事業資金融資制度等審議会 全都道府県監査委員協議会連合会講習会(オンデマンド形式)
17日	議会だより編集委員会
18日	第52回奥多摩町福祉大会
19日	中国北京市区人民代表大会友好代表団歓迎夕食会
21日	
22日	町村監査功労者表彰式・町村監

西多摩地区議会議員研修会の内容(令和6年10月2日)

○講 演「ハラスメント防止・根絶」

○講 師 (一財)地方自治研究機構顧問 井上 源三 氏

※西多摩地区議長会は、西多摩地区8市町村(青梅市・福生市・羽村市・あきる野市・瑞穂町・日の出町・奥多摩町・檜原村)で構成されています。

西多摩郡町村議会議長会議員親睦会の内容(令和6年10月4日)

○講 演「窓口業務のDXを推進する「書かない窓口」の実施」他

○講 師 瑞穂町デジタル推進課長 水村 探太郎 氏 他

査委員全国研修会
第35回東京都道路整備事業推進
大会
消防団第3分団激励
例会出納検査
24日
26・27日 第39回奥多摩ふれあいまつり
27日 // 農林産物品評会表彰式
30日 広島県呉市議会会派行政視察
31日 総務文教・経済厚生常任委員会
合同視察

編 集 後 記



今年の夏、オリンピック・パラリンピックの大会が開催されました。それぞれ17日間と12日間の熱闘を見せて頂き感動を頂きました。日本はオリンピックで金メダル20個、銀メダル12個、銅メダル13個でメダル総数は45個と夏のオリンピックで過去最多の獲得をしました。パラリンピックでも金メダル14個、銀メダル10個、銅メダル17個でメダル総数は41個と大健闘でした。メダルを獲得できた選手、おめでとうございました。惜しくもメダルに届かなかった競技でも感動する場面が数多く見られました。この大会はロシアによるウクライナ侵略やイスラエルのパレスチナ自治区ガザへの攻撃など、世界各地で紛争が続く中での開催でした。しかし勝者も敗者も笑顔になり健闘を称えあう姿に平和の尊さを実感しました。

澤本 幹男 記

榎戸 雄一 伊藤 英人
相田恵美子 高橋 邦男